

# USER GUIDE

**SIDIZ**

**ible**

**Better seat,  
Better life.**



- Please mind to sit deep inside the chair. Due to the nature of the product, if you sit on the front end, you may slide and fall forward.
- Do not stand on the chair. You may slide and get injured by the movement of casters.
- Do not sit on the edge of the chair for the possible overturn.
- Do not use the chair for any purpose other than its intended purpose.
- Please be advised that the warranted weight capacity of the chair is 113kg(250lb) or less.
- Do not sit on the edge of the seat or backrest to prevent overturn and injury.
- Do not sit on the armrest to prevent possible slipping.
- Do not sit when someone is under the chair.
- Do not push the chair when someone is seated.
- Do not rotate the chair when someone is seated, the person may get injured.
- Do not sit more than two people in one chair.
- When seated with your shoes off, make sure your toes are safe from the movement of casters.
- Do not sit facing the headrest of the chair for the possible overturn.
- Do not put your finger into the gap of the chair.
- Do not excessively tilt your body forward or left/right when seated.
- The chair may get overturned when you rotate the chair while standing on the seat.
- Do not use the chair for exercise such as push-ups.
- Do not lean your hands or body against the chair while standing. You may get injured due to the unexpected movement of casters.
- Do not throw the chair.
- Do not kick the chair.
- Do not walk across multiple chairs.
- Do not put your legs inside the legs of the chair and bend forward, you may overturn.
- Please read the instructions of the chair in advance for appropriate use.
- We are not responsible for the risk of ignoring the above warning.



- 사용 시 의자 안쪽 깊숙이 앉을 수 있도록 주의 바랍니다. 제품 특성 상 앞쪽 끝에 걸터앉을 경우 앞으로 넘어질 수 있습니다.
- 의자에 올라가면 바퀴에 의해 의자가 미끄러져 상해를 입을 수 있습니다.
- 의자 가장자리 부분에 앉으면 전복되어 상해를 입을 수 있습니다.
- 의자 본래 목적 이외로 사용하지 마십시오.
- 113kg 이상의 사람은 사용에 주의하시기 바랍니다.
- 좌판이나 등판에 걸터앉으면 전복되어 상해를 입을 수 있습니다.
- 팔걸이에 걸터앉으면 미끄러져 상해를 입을 수 있습니다.
- 사람이 의자 아래로 들어가 있을 때 앉지 마십시오.
- 사람이 앉아 있을 경우 의자를 밀지 마십시오.
- 의자에 사람이 앉아 있을 때 강제로 회전시키면 상해를 입을 수 있습니다.
- 하나의 의자에 2인 이상이 앉지 마십시오.
- 신발을 벗고 사용할 경우 바퀴에 발가락이 끼지 않도록 주의하십시오.
- 의자 등판에 등을 대지 않고 반대로 앉으면 전복되어 상해를 입을 수 있습니다.
- 의자 틈새에 손가락을 넣지 마십시오.
- 의자에 앉을 땐 몸을 앞으로 또는 좌우로 무리하게 기울이지 마십시오.
- 다리를 좌판에 올린 상태에서 회전을 하면 전복되어 상해를 입을 수 있습니다.
- 의자를 이용하여 팔굽혀펴기 등을 하지 마십시오.
- 서있는 상태에서 의자에 손이나 몸을 기대면 바퀴가 구르며 상해를 입을 수 있습니다.
- 의자를 던지지 마십시오.
- 의자를 발로 차지 마십시오.
- 의자를 여러 개 모아 놓고 위에서 건너 다니지 마십시오.
- 의자의 다리 안쪽에 다리를 넣고 걸친 상태로 몸을 앞으로 숙이면 전복될 수 있습니다.
- 의자 사용법을 충분히 숙지한 후 사용하시기 바랍니다.
- 위의 경고를 무시한 상태의 위험에 대해서는 책임을 지지 않습니다.



- 请意坐在椅子的深处。由于产品的性质，如果坐在前端，可能会向前滑动和跌倒。
- 不要站在椅子上，脚轮的移动会让您受到伤害。
- 不要坐在椅子的边缘，以免翻倒。
- 请勿将椅子用于其预期用途以外的任何用途。
- 椅子的保证承重为 113 公斤或更少，请注意。
- 如果栖息在座椅或靠背上，可能会因椅子翻倒而受伤。
- 不要坐在扶手上以防止可能滑倒。
- 当有人在椅子下时，不要坐下。
- 当有人就座时，请勿推动椅子。
- 有人坐下时旋转椅子，则某人可能会受伤。
- 一张椅子上不要坐超过两个人。
- 当您脱鞋坐在椅子上时，请确保您的脚趾不受脚轮移动的影响。
- 请勿坐在面向椅子头枕的位置，以免发生翻倒。
- 请勿将手指伸入椅子的缝隙中。
- 坐下时不要过度向前或向左/向右倾斜身体。
- 将腿放在座椅上的同时旋转椅子时，椅子可能会翻倒。
- 请勿使用椅子进行俯卧撑等运动。
- 站立时不要将手或身体靠在椅子上。您可能会因脚轮的意外移动而受伤。
- 不要扔椅子。
- 别踢椅子。
- 不要跨过多张椅子。
- 不要将小腿伸入椅腿内，身体前倾，否则可能会导致椅子翻倒。
- 请事先充分了解椅子的使用情况，以便更合适地使用。
- 对于因无视上述警告而导致的任何可能的伤害、危险和损坏，我们不提供任何保证。



- 落坐時請坐滿做好。由於產品的性質，如果您坐在前端，您可能會向前滑動和跌倒。
- 請勿站在椅子上，您可能會因腳輪的移動而受傷。
- 請勿坐在椅子的邊緣，以免翻倒。
- 請勿將椅子用於其預期用途以外的任何用途。
- 請注意，椅子的保證承重至多為 113 公斤，不同品項或規格有可能承重範圍更小。
- 請勿乘坐於座墊或靠墊的邊緣，以免發生翻覆導致受傷。
- 請勿坐在扶手上，可能滑倒導致受傷。
- 當有人在椅子下時，不要坐下。
- 當有人就座時，請勿推動椅子。
- 當有人就座時，強制旋轉座椅可能導致該人員受傷。
- 單張座椅請勿乘坐 2 人。
- 當您脫鞋就座時，請確保腳趾不會受到椅輪移動影響。
- 請勿以面向座椅頭枕的方向就座，以免發生傾倒危險。
- 請勿將手指伸入座椅的縫隙中。
- 就座時請勿過度向前或向左/向右傾斜身體。
- 將腿放在座椅上的同時旋轉座椅時，可能發生傾倒危險。
- 請勿使用椅子進行伏地挺身等運動。
- 站立時請不要將手或身體靠在座椅上。可能會因椅輪的意外移動而導致受傷。
- 請勿扔椅子。
- 請勿踢椅子。
- 多張座椅疊放時，請勿由上方跨越。
- 請勿將小腿伸入椅腿內，身體前傾，可能會導致座椅翻覆而受傷。
- 請事先充分了解座椅的使用方式，以便安全使用。
- 對於因無視上述警告而導致的任何傷害、危險和損壞，恕無法提供任何補償及責任。



- Por favor, siéntese profundamente dentro de la silla. Debido a la naturaleza del producto, si se sienta en la parte delantera, puede deslizarse y caer hacia adelante.
- No se suba a la silla, ya que podría lesionarse con el movimiento de las ruedas.
- No se siente en el borde de la silla, ya que podría lesionarse debido al vuelco.
- No utilice la silla para ningún otro propósito que no sea el previsto.
- Tenga en cuenta que la capacidad de peso garantizada de la silla es de 113 kg (250 lb) o menos.
- Si se posa en el asiento o el respaldo, puede lesionarse debido al posible vuelco de la silla.
- No se siente en el apoyabrazos para evitar posibles resbalones.
- No se siente cuando hay alguien debajo de la silla.
- No empuje la silla cuando alguien esté sentado.
- Si gira la silla cuando alguien está sentado, la persona puede lesionarse.
- No se siente más de dos personas en una silla.
- Cuando se siente en la silla sin zapatos, asegúrese de que los dedos de los pies estén a salvo del movimiento de las ruedas.
- No se siente frente al reposacabezas de la silla por el posible vuelco.
- No meta el dedo en el hueco de la silla.
- No incline excesivamente su cuerpo hacia adelante o hacia la izquierda/derecha cuando esté sentado.
- La silla puede volcarse cuando la gira mientras coloca las piernas sobre el asiento.
- No use la silla para hacer ejercicio como flexiones.
- No apoye las manos ni el cuerpo contra la silla mientras esté de pie. Puede lesionarse debido al movimiento inesperado de las ruedas.
- No tires la silla.
- No patees la silla.
- No camine sobre varias sillas.
- No coloque las espinillas dentro de las patas de la silla e incline el cuerpo hacia adelante, ya que podría provocar el posible vuelco de la silla.
- Se ruega conocer por adelantado el uso de la silla para su uso más apropiado.
- No aplicamos ninguna garantía por posibles lesiones, peligros y daños que resulten de ignorar las advertencias anteriores.



- ・使用するときは、椅子の奥深くに座るように注意してください。製品の特性上、フロントエンドに座ると前に倒れる場合があります。
- ・キャスターの動きで怪我をする恐れがありますので、椅子の上に立たないでください。
- ・転倒の可能性があるため、椅子の端に座ってはいけません。
- ・椅子を本来の目的以外の目的で使用しないでください。
- ・椅子の保証重量は 113kg 以下ですのでご注意ください。
- ・座席や背もたれに腰を下ろすと、椅子が転倒して怪我をする可能性があります。
- ・すべりを防ぐために肘掛けに座らないでください。
- ・誰かが椅子の下にいるときは座ってはいけません。
- ・誰かが座っているときに椅子を押さないでください。
- ・誰かが座っているときに椅子を回転させると、その人が怪我をする可能性があります。
- ・1つの椅子に 2人以上座ってはいけません。
- ・靴を脱いで椅子に座るときは、つま先がキャスターの動きから安全であることを確認してください。
- ・転倒の可能性があるため、椅子のヘッドレストに面した位置に座らないでください。
- ・椅子の隙間に指を入れないでください。
- ・座った状態で、体を前または左右に過度に傾けないでください。
- ・脚をシートに乗せた状態で椅子を回転させると、椅子がひっくり返る場合があります。
- ・腕立て伏せなどの運動には椅子を使用しないでください。
- ・立ったまま手や体を椅子に立てかけないでください。キャスターの予期せぬ動きにより、けがをする恐れがあります。
- ・椅子を投げないでください。
- ・椅子を蹴らないでください。
- ・複数の椅子を横切って歩かないでください。
- ・すねを椅子の脚の中に入れたり、体を前に傾けたりしないでください。椅子が転倒する可能性があります。
- ・より適切に使用するために、事前に椅子の使用について十分に理解してください。
- ・上記の警告を無視した結果として発生する可能性のある怪我、危険、および損害について、当社はいかなる保証も適用しません。



# SIDIZ

VER. 0